

基礎医学実習

科目到達目標: 1) 実験の手技を身につける。 2) 実験の組み立て方を身につける。 3) 各実習の意義を説明できる。
4) 各実習で得られたデータを解釈し、説明できる。 5) 各実習で得られたデータをもとに発表し、討論できる。
6) 実験動物への愛護精神を身につける。

科目責任者(所属教室): 松浦 達也(統合分子医化学)

回数	月日	時限	講義室	授業内容	担当者	講座・分野・診療科	到達目標	授業のキーワード
1	11/15(火)	3	121	説明会	基礎系 講座・分野 担当教員	統合生理学分野、 適応生理学分野、 統合分子医化学分野、 分子薬理学分野、 薬物治療学分野	教科書に記載されている事実あるいは講義等で 教えられた知識は、多くの研究によって得られた ものである。基礎医学実習では、実験を自ら実施 することで、講義で学んだ知識について理解を深 め、問題点を解明する能力や論理的思考力を養 うことを目標とする。また、得られたデータをもと に、学会方式の発表を行うことにより、プレゼン テーション能力の向上を目指す。	
2	11/22(火)	3・4	機能系 感染生化	実習内容: 日程・実習場所等の詳細 は、後日実習書に記載して配布す る。 時限数: 34~45時限				
3	11/24(木)	3・4						
4	11/29(火)	3・4						
5	12/1(木)	3・4						
6	12/6(火)	3・4						
7	12/8(木)	3・4						
8	12/13(火)	3・4						
9	12/15(木)	3・4						
10	12/20(火)	3・4						
11	12/22(木)	3・4						
12	12/27(火)	3・4						
13	12/28(水)	3・4						
14	1/4(水)	3・4						
15	1/5(木)	3・4						
16	1/6(金)	3・4						
17	1/10(火)	3・4						
18	1/11(水)	3・4						
19	1/12(木)	3・4						
20	1/17(火)	3・4						
21	1/18(水)	3・4						
22	1/19(木)	3・4						
23	1/20(金)	3・4						
24	1/24(火)	3・4						
25	1/25(水)	3・4						
26	1/26(木)	3・4						
27	1/27(金)	3・4						

教育グランドデザインとの関連: 1, 3, 4, 5

学位授与の方針との関連: 1, 2

評価: 実習科目であるので、全出席を原則とする。出席・実習態度(50%)、レポート(30%)、発表会での発表・質疑応答など(20%)により評価する。

その他: 実習書は説明会の時に配布する(全員出席のこと。遅刻をしないこと。これも出席に含める)。